


第8回海洋立国推進功労者表彰受賞者

1. 海洋立国日本の推進に関する特別な功績 分野

地域振興 部門

団体名称	しまし 志摩市	
功績の概要	新しい里海創生によるまちづくり	

功 績 事 項

豊かな海と山が与える自然からの恵みにより産業や生活環境が成り立っていることを認識し、その恵みを持続的に活用できるよう自然環境の保全・再生を図るとともに、自然環境と調和した秩序ある利活用を通じて、地域の経済活動の再生と活性化のため以下の取り組みを行った。

1. 海洋基本法及び海洋基本計画を受け、我が国の自治体で初となる沿岸域総合管理計画「志摩市里海創生基本計画」の策定・推進。
2. 志摩市では漁業者が厳しい自主規制を設け、稚魚や稚貝の放流を積極的に行うことによる水産資源の維持・増大を図るとともに、過去に干拓された土地に海水を入れ干潟を再生するという全国的に例の少ない手法で沿岸海域の環境改善を推進。
3. 東・東南アジアの海域における環境保全と調和した開発の推進ための政府、地方政府、NGO、研究機関等の連携強化を目的とした組織である PEMSEA（東アジア海域環境管理パートナーシップ）の理念に基づく、「統合沿岸域管理」を実施する地方自治体のネットワークである PNLG に我が国自治体として初めて加盟及び各国の加盟自治体との連携。
4. 志摩市内の小中学校において地域の漁業者や水産高校等との連携による実践的な学習機会を創出するなど学校教育における海洋教育の充実化、次世代を担う人材の育成の積極的な推進。



2013.9 PNLG 国際フォーラムを志摩市で開催




稚魚放流による豊かな海の創造と次世代育成

第8回海洋立国推進功労者表彰受賞者

2. 海洋に関する顕著な功績 分野

水産振興 部門

団体名称	と ば い そ べ ぎ よ ぎ よ う き よ う ど う く み あ い と う し し し ょ 鳥羽磯部漁業協同組合 答志支所 せい そう ね ん ぶ 青壮年部	
功績の概要	藻場再生にかかる取組	

功 績 事 項

1. 磯焼けにより減少したアワビ等の収穫量の回復のため、藻場の再生に取り組み、アワビの収穫量を2009年の0.5トンから2014年には0.9トンに増加させるなど成果を上げた。また、藻場の再生にあたり環境負荷の少ない新しい工法※を確立させ、その工法は周辺地域にも普及した。

※ 自然石にアラメ苗を植栽したうえで、アイゴ等の藻食性魚類による食害を防ぐためのネットを設置し、ネットの中で育成させた苗を磯焼けしている海域に移植する工法。



潜水による設置作業

2. 地元中学校の「総合的な学習の時間」において、アラメ苗の取り付け作業を青壮年部員が指導するなど、漁業への理解促進、担い手確保に寄与した。



自然石へのアラメ幼体の取付作業



アラメ付自然石の投入作業